

## 札幌市立北の沢小学校の取組【読書：中央図書館活用授業】

### 1 研究のねらい

#### 【研究テーマ】

「公立図書館と連携した読書活動および言語活動の充実と効果的な学び方の育成」

- 中央図書館との連携とその実践を通じ、公立図書館の効果的な活用と本に親しむ活動の充実を図る。
- 日常における言語活動の基礎基本育成の取組（本校の特色ある学習活動の時間「国語の基礎タイム」の取組）と連携し、豊かな読書活動に向けて「図鑑」などを活用した簡単な調べ学習を題材に実践を推進し、探究的学習の向上を図る。

### 2 取組内容

#### 【これまでの図書館モデル公開授業の研究実践から】

中央図書館など公立施設での学習活動を設定するに当たり、可能であれば訪問を複数回設定することは、児童の学びにとって大変有効である。1回目の訪問で「知る」「探す」体験をした児童は活動への自信が深まるとともに、施設やそこで働く職員の方々、出会う利用者に親しみをもち、2回目では活動に「楽しく」「存分に」浸ることで、新たな「発見」が増え、意欲的に活動する姿が期待できる。

#### (1) 教科や諸活動と連携した読書活動の充実

##### 活動Ⅰ＜訪問1回目＞…【2学年】生活科

##### ①「としょかんのひみつをさがろう」

◇「子どもの森」の図書館地図をつくるための調べ学習を通じ、本の分類や配架の状況、環境構成などに気付き、市民が利用しやすいような配慮や工夫を知る。

##### ②「としょかんをたのしくりようしよう」

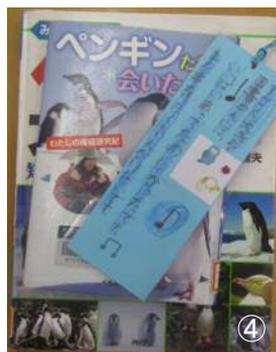
◇借りる本（興味に基づく絵本・自分の読みたい本）と、この日館内で読む本を選び、じっくり読む。

##### ③「本の世界を広げる活動」

◇本校図書ボランティアの皆さんによる紙芝居の読み聞かせ。

##### ④「わたしのしおりづくり」

◇大きな図書館で活動したり、学んだりした感想や感動を短文にして、ラミネートしたしおりに表し、活用する。



活動Ⅱ＜訪問2回目：活動Ⅰの2週間後＞

【2学年】国語科「本はともだち」

⑤「本からはっけん！わたしのびっくりを伝えよう」

◇自分の興味をテーマに、図鑑や「〇〇のひみつ」などのジャンル本を選び、読む。

◇「はっけん」「びっくり」「つたえたいこと」などの視点によってワークシートに整理し、クイズにまとめる。

◇クイズづくりと練習。

◇作ったクイズを全体やグループで出し合い、楽しみながら本の魅力を知る。

◇クイズで選んだ図鑑はその表紙を示しながら紹介。

⑥「ずかんで学ぼう、広げよう」

◇興味に基づく図鑑を2冊、自分の読みたい本を2冊借りる。（→学級で読み合う。）

⑦「本の世界を広げる活動」

◇本校図書ボランティアの皆さんによる絵本の読み聞かせ。



### 3 成果と課題

#### (1) 成果

○過去5か年の推進事業研究を通じ、公立図書館という場を活用した学習活動の題材として、「絵本」・「大型絵本」・「紙芝居」・「図鑑」は、子どもの興味や公立図書館の特長（「子どもの森」での蔵書数とその種類の充実度など）が十分に発揮されることが分かった。

○図書館司書および職員の皆さんの理解と協力により、事前準備や当日のレファレンスが大変スムーズで、本を探す際の児童の疑問や困りに的確に対応していただいた。

○2週間の貸出期間×2回で学習活動を設定したことにより、学級児童数の2～4倍の数の本が常時学級に備わることとなった。それにより、当該学年および隣接学年の児童は計4週間に渡って多彩な種類の本を手にとることができ、読書への興味が一層深まった。



#### (2) 課題

中・高学年において児童個々の学習テーマで調べ学習を行うに当たっては、公立図書館といえども必要とするジャンルにおける本の種類や複本の数が十分でない場合があるので、テーマの絞り込みやねらいの明確化、蔵書の確認、レファレンスによる問い合わせなどの事前準備を確実にしておく必要がある。